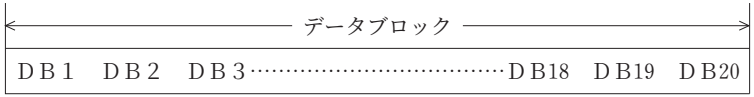
⑵　データパケット構成２



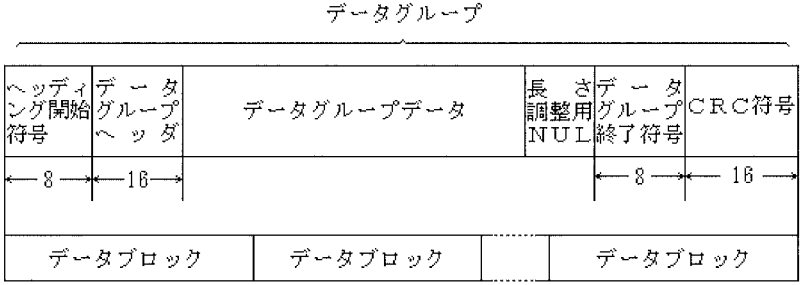
注１　ＤＢはデータブロック内のバイトを示し、送出順に１から18（20）までのバイト番号を付す。１バイトの中のビットはｂで示し、送出順に１から８までのビット番号を付すものとする。以下同じ。

２　データブロック中のデータのフォーマットは可変データフォーマットとする。

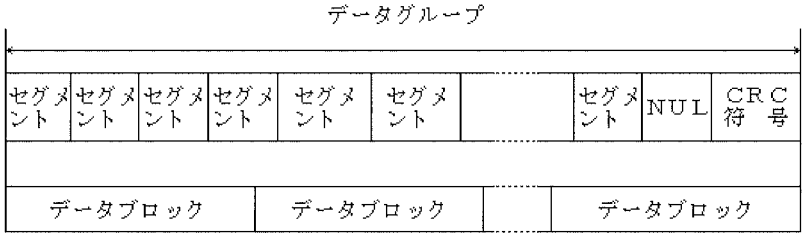
別表第六号　データグループ

１　データグループの構成

⑴　データグループ１



⑵　データグループ２



注１　データグループは、一又は複数のデータブロックから構成させる。

２　データグループは、データグループ１及びデータグループ２の２種類とし、データグループ１は文字・図形情報の送出用、データグループ２は付加情報の送出用とする。

３　データグループ１は、必ずヘッディング開始符号（ＳＯＨ）で始まるものとする。

４　データグループ１のデータグループ終了符号は、データグループの終了を示し、ページが終了する場合にはテキスト終結符号（ＥＴＸ）とし、最終ページ、番組索引データ又は番組共通マクロデータが終了する場合には伝送終了符号（ＥＴＯ）とし、その他の場合は伝送ブロック終結符号（ＥＴＢ）とする。

５　開始符号及び終了符号は、次のとおりとする。

符号	列番号／行番号
ヘッディング開始符号（ＳＯＨ）	00／１
テキスト終結符号　（ＥＴＸ）	00／３
伝送終了符号　（ＥＯＴ）	00／４
伝送ブロック終結符号（ＥＴＢ）	01／７

列番号／行番号の表記方法は、列番号を上位の４ビット、行番号を下位の４ビットとする２進値による。以下同じ。

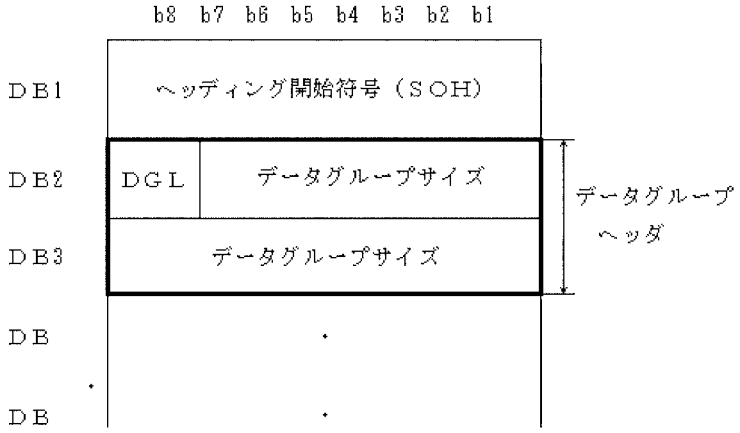
６　データグループ２は、一又は複数のセグメント（付加情報を送出するための情報単位）等から構成される。

７　ＣＲＣ符号の位置をデータブロックの最後の部分とするため、データグループ１の場合は、データグループデータとデータグループ終了符号との間に必要に応じて空白（ＮＵＬ）を設け、データグループ２の場合は、データグループの最終セグメントの後に必要に応じて空白を設けるものとする。

なお、空白はデータグループ長、データユニットのデータ長、セグメントのセグメント長には含めないものとする。

８　データグループの構成がデータグループ２において、データグループが一のデータブロックで構成される場合は、ＣＲＣ符号を付加しないものとする。

２　データグループヘッダの構成



ＤＧＬ：データグループリンク符号

注１　データグループリンク符号（ＤＧＬ）は、ＤＢ２のｂ８の１ビットから成り、同一のサービス識別符号に後続する内容の異なるデータグループとの連結の有無を示す。

連結がある場合は「１」、連結がない場合は「０」とする。

２　データグループサイズ（ＤＧＳ）は、ＤＢ２のｂ７～ｂ１を上位バイト、ＤＢ３を下位バイトとする15ビットの２進値により、データグループデータのバイト数を示すものとする。

３　データグループの誤り検出

誤り検出符号	16ビットのＣＲＣ符号とする。
ＣＲＣ符号	誤り検出の符号化区間の情報ビット数をｎ－16とするとき、情報ビットの値を順次、多項式$C_{n-1}X^{n-1}+C_{n-2}X^{n-2}+\cdots\cdots+C_{16}X^{16}$の各項の係数値とし、この多項式を生成多項式Ｇ（Ｘ）で除した乗除の多項式$S_{15}X^{15}+S_{14}X^{14}+\cdots\cdots\cdots\cdots+S_{0}X^{0}$の各項の係数値を上位桁から送出順にＣＲＣ符号の各ビットの値とする。 生成多項式Ｇ（Ｘ）は、次式とする。 Ｇ（Ｘ）＝$X^{16}+X^{12}+X^{5}+1$